

# 町村週報

(町村の購読料は会費)  
の中に含まれております

## 2657号

毎週月曜日発行

発行所 **全国町村会** 〒100 0014 東京都千代田区永田町1丁目11番35号：電話03 3581 0486 FAX03 3580 5955

発行人 山中昭栄：定価1部40円・年間1,500円(税、送料含む) 振替口座00110 8 47697

<http://www.zck.or.jp>

通潤橋の放水(熊本県山都町)



### 政 策

随 想	情 報	フ ォ ー ラ ム	政 策
人が、地域が輝けば町は輝く.....	町村Nav i.....	賑わいあふれる山の都を創る〜潤い、文楽、そよ風でつづる新しい町〜熊本県山都町.....	文部科学省・2009年度予算概算要求重点施策(解説).....
(11)	(9)	(5)	(3)

### 写真キャプション

秋空の下、豪快な水しぶきをあげる熊本県山都町の通潤橋。川面に映える美しいアーチは、緑川流域に残る石橋文化の白眉と称される。竣工は黒船来航の翌年の嘉永7年(1854年)。矢部手永の惣庄屋布田保之助が力を尽くし、水路橋を架けて水不足に悩む白糸台地の住民を救った。山都町の歴史と風土を活かしたまちづくりは、6ページのフォーラムをご覧ください。

### 休 閑 話 題

## フランス・モントー村 クロード村長

法政大学現代福祉学部教授 岡崎 昌之

全国町村会の調査の一環で、フランスの小さい村々を訪れた。フランスにはコミューンと呼ばれる自治体が3万7千も存在しているから、その多くは人口千人に満たない小規模な町村となる。縁あって今回訪れたのは、フランス西南部の中心都市ポルドーからさらに南へ約120キロ、スペインとの国境をなすピレネー山脈もつつすと望みできるモントー Montaut 村だ。トウモロコシ畑の続くなか、小高い丘にたつ教会を中心に、人口610人の落ち着いた生活の流れる村である。

村長さんは女性のクロード・ポアソニー氏。パリの有名なアメリカン・ホスピタルで事務部門の責任者として永年働き、リタイアのつもりでご主人と、気候のいいこのモントー村を選んで2年前に移住してきた。空き家になっていた神父の館を買って、美しく改修を施し生活を始めた。

住み始めて1年半、村人から相談があり、押し切られて今年3月、村会議員になるとともに互選で村長に選ばれた。利害関係は全くなく、外からたまたま移住してきたクロードさんの目には、モントー村は新鮮で、可能性に満ちた美しい村に映った。

しかし20年近く、全て自分で決めてきたワンマンな前村長のおかげで村は停滞していた。

15人の村会議員全員で月一回の議会を開き、財政、文化、住民組織、施設管理等々を議論する。議員のうち4名の村長補佐との議論は、時に深夜まで及ぶこともあるという。村づくりの目標は、事故や災害から村民を守る安全性の確保、そして村の活性化、商店街の復活、宅地分譲、日曜朝市の開催などに熱心に取組んでいる。新しく力ラーの村広報も発行し始めた。

クロード村長のもう一つの悩みは、政府が進めているコミュニティ・デ・コミューン、広域自治体連合のことである。5千人の町サンスベ Saint-Sever を中心にモントーを含む15の村、1万1千人で連合を組み、道路、経済発展、観光、社会福祉等の事業を広域で実施している。しかし村民からは村への愛着から、暮らしの近くに政府があつて欲しいという要望が多い。

永年パリで培ってきた幅広い視点で、このモントー村を客観的に見詰めながら、その可能性を真摯に追求する女性村長の新しい村づくりに期待したい。

# 文部科学省

## 2009年度予算概算要求重点施策

### 新学習指導要領に対応

#### - 非常勤講師 1 万人以上を配置 -

文部科学省の2009年度予算概算要求は、一般会計総額で08年度予算比12・8%増の5兆9472億円と決まった。このうち義務教育国庫負担金は教職員定数の15000人増を求め、一方で、本給の3%の義務教育等教員特別手当を2・2%に縮減するなどし、微減の1兆6768億円となった。

09年度は、今年7月に閣議決定し、約80項目の教育政策を盛り込んだ「教育振興基本計画」を受けた初めての予算となり、いわゆる「ゆとり教育」からの転換を図る新学習指導要領への対応に重点を置いた。具体的には、小中学校で学習内容が増えるため、非常勤講師を1万人余り配置したい考えだ。

このほか、いじめ、不登校など社会問題化している喫緊の課題に取り組み。インターネットや携帯電話の普及で、子どもを巻き込んだ事件も相次いでいることから、「情報モラル教育」の充実も図る。

教職員定数は主幹教諭中心に増員

教職員定数に関しては、子どもの学力向上に向け「教員が子ども一人一人に向き合う環境をつくる」との観点で、内訳は 主幹教諭(896人) 特別支援教育関係(434人) 事務職員(73人) 外国人児童生徒への日本語指導関係(50人) 栄養教諭(47人) となっている。

また、退職教員などを活用した「退職教員等外部人材活用事業」も拡充する。同事業は習熟度別の少人数学級指導や不登校児への対応に外部人材を「サポート先生」として活用するもので、人員を前年度の7000人から1万5000人に増やす。

教員給与との関係では、骨太方針2006が掲げた「教員給与の優遇部分の縮減(2.76%)」への対応として、義務教育等教員特別手当を本給の2.2%までに引き下げる。一方、管理職手当を改善する反面、教員調整額の一部を縮減するなどし、「メリハリある教員給与体系」を推進する。

09年度は、教員免許に10年間の有効期限を設け、更新には大学などで30時間の講習を受けることが義務付けられる「教員免許更新制」がスタートする。毎年10万人が受講することが見込まれることから、同省は多くの講座を確保したい考えで、大学に対し、受講募集経費 講師の報酬 出張講座などを展開する場合の旅費 などに関し、定額で補助する。

算数・理科は補助教材を作成

新学習指導要領は、小学校で11年度、中学校で12年度から全面導入される。09年度からも一部移行措置が始まり、理科科目が強化されるなど学習内容が増える。

こうした授業時間数が増えることへの対応として、非常勤講師を1万1500人配置する。また、「学力向上支援事業」として、基本的知識・技能の定着 新指導要領の新たな教育内容に関する指導方法や教材の開発 総合的な学習の時間に関する指導方法や教材の開発 といった研究テーマを設定し、複数の都道府県・政令市で実践的な調査研究を進める。

このほか、移行措置期間中に先行実施される算数・数学、理科に関しては、追加される指導内容が現在の教科書に含まれていないことから、補助教材の作成を教科書発行者に依頼し、配布する事業を実施する。視覚障害のある児童生徒が使う点字・拡大版も作成・配布する。

改正教育基本法で、新たな教育目標として「道徳心を培う」ことが盛り込まれ、教育振興基本計画でも「指導要領の趣旨を踏まえ、適切な教材が十分活用されるよう国庫補助制度の創設など有効な方策を検討する」と定められたことを受け、学校で使う道徳教材に

政 策

環境省

2009年度予算概算要求重点施策

地球温暖化対策に重点  
- 太陽光発電を普及へ -

情報モラル専門員を派遣

対し定額で補助する制度を創設する。

いじめ、不登校などの問題への対応としては、子どもが夜間、休日含め24時間いつでも相談できるよう都道府県が行う電話相談体制を強化する。スクールカウンセラーを小学校で220

0校、中学校で10077校配置するほか、警察OB、教員OB、弁護士、臨床心理士らで構成する「専門家チーム」を結成し、いじめ自殺が起きた場合に児童生徒の心のケアやマスコミ対応をしたり、いじめに関係者間の調整に当たったりするモデル事業を実施する。

情報モラル教育を推進するには、教

育委員会の指導主事や学校の先生の指導力向上が不可欠なため、実際に保護者からの「ネットいじめ」の相談に応じているボランティアなどを「専門員」として派遣する事業も展開する。指導主事と専門員が学校を巡回し、先生らにネット事情を説明したり、授業の展開方法などについてアドバイスする。この事業は、主に小中学校を対象

とすることを想定しているが、小中学校には「情報」に関する特定の科目がないため、教科書会社が教科書を作成することが期待できない。このため、同省は民間企業などに委託して教材を作成、同省ホームページからダウンロードして活用してもらうことも検討中だ。

(時事通信社 安延 太郎)

環境省の2009年度予算概算要求は、一般会計で前年度比16・8%増の2567億円と決まった。地球温暖化対策に重点を置いており、温室効果ガスである二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)を排出しない太陽光発電の普及事業などを盛り込んでいる。

要求の内訳を見ると、非公共事業費は同15・3%増の1483億円で、このうち一般政策経費が同14・7%増の1063億円。公共事業費は同18・8%増の1084億円で、このうち廃棄物関連が同18・8%増の949億円、自然公園関連が同18・8%増の135億円となっている。

エネルギー対策特別会計は同17・9%増の474億円で、一般会計からの繰入額が420億円、剰余金が54億円。一般会計とエネルギー対策特別会計の合計額は、繰入額を除くと、同17・0%増の2621億円となった。

行動計画踏まえ予算要求

地球温暖化対策が主要議題に上った北海道洞爺湖サミット(主要国首脳会議)を前にした6月、福田康夫首相は、低炭素社会構築に向けた日本としての基本的な考え方を「福田ビジョン」として発表。政府は7月に、福田ビ

ジョンを具体化させた低炭素社会づくり行動計画を閣議決定した。

行動計画では、50年までに世界全体の温室効果ガスを半減させるため、日本は同時期に60・80%削減することを宣言。実現に向けて、太陽光発電の導入量を20年に現在の10倍、30年に40倍とすること、20年までに新車販売のうち2台に1台の割合で次世代自動車

(ハイブリッド車、電気自動車など)を導入 といった目標を盛り込んだ。

環境省は、この行動計画に基づいてさまざまな予算要求を行った。太陽光発電では、再び導入量世界一の座を占めるための戦略策定事業費として1億500万円を計上した。大規模発電設備を設置できる適地を探す調査を行うほか、集合住宅への普及策の検討を行う。また「グリーン電力証書」を活用して、住宅への太陽光発電を普及する事業として1億円を新規に要求した。グリーン電力証書は、風力や太陽光などCO<sub>2</sub>を排出しないで発電した電力の環境価値を証書化したもの。企業の間では、事業活動で排出したCO<sub>2</sub>を埋め合わせるために、証書を購入する「カーボンオフセット」の取り組みが広がっている。この新規事業では、自治体が地元商工会議所に呼び掛けて、「ソーラーのまちづくり推進協議会」を設置し、参加企業を募集。一方で太陽光発電設備を新たに設ける世帯を募集し、各世帯が自家消費するために発電

政 策

した分についてグリーン電力証書を発行する。参加企業がグリーン電力証書を購入することで、各世帯は設備設置費用を回収できる仕組みだ。

太陽光発電以外の地球温暖化対策事業として、洋上風力発電の技術開発(4億円)、高濃度バイオ燃料の実用化(2億円)、温泉の熱や温泉採取で発生するガスの活用促進(1億円)などを盛り込んだ。

大手製紙メーカーによるコピー用紙の古紙配合率偽装問題を受けて、環境についての製品表示の信頼性を高める事業(8億2000万円)に乗り出す。グリーン購入法に基づいて、政府が調達するコピー用紙を古紙配合率100%の物に限っている。しかし古紙配合率が100%でない製品に100%と偽って表示されていたことが今年明らかになった。再発を防止するため、グリーン購入法の対象となっている紙や文具などの237品目の中から選んで、表示が正しいかどうかを調べる「エコテスト」を実施。結果を公表する方針だ。

電子機器のレアメタルを回収

廃棄物・リサイクル対策部関連では、携帯電話やオーディオプレーヤーなどの小型家電に含まれるレアメタル(希少金属)の回収を進めるモデル事業1億2300万円)を盛り込んだ。インジウムや白金、コバルトといった金属

は先端技術産業に欠かせないため、小型家電に含まれるレアメタルの活用に乗れ出す。このモデル事業を実施する自治体を数力所選定。使用済み機器をどのような方法で回収すれば、効率的に集められるかを調べる。回収した家電を廃棄物処理業者に引き渡してレアメタルを取り出すが、分解時に発生する有害物質の無害化作業のあり方も探る。

自然環境局関連では、鳥インフルエングザ対策として「野生鳥獣感染症情報整備事業」を前年度の3700万円から1億3900万円に増額要求した。4 5月に北海道、青森、秋田の3道県で、オオハクチョウが強毒性のH5N1型鳥インフルエングザウイルスに感染したのが明らかになった。これを踏まえ、野鳥のふんを採取してウイルスが交じっていないかを調べるモニタリングの対象地域について、これまでは西日本を中心に実施していたが、新たに全国に拡大する。このほか、近隣諸国で発生した鳥インフルエングザが国内にまん延するのを防ぐため、近隣国で流行している渡り鳥の感染症についての情報集約を行う。鳥インフルエングザ対策以外では、名古屋で10年に開かれる生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)の開催関連経費を盛り込んだ。

(時事通信社 増淵 慶彦)

道州制と町村に関する研究会・全国町村会 『平成の合併』をめぐる実態と評価』を公表

全国町村会(会長・山本文男福岡県添田町長)の「道州制と町村に関する研究会」(座長・大森 彌東京大学名誉教授)は、このたび『平成の合併』をめぐる実態と評価』を公表しました。

いわゆる「平成の合併」により、全国の町村は2,562(平成11年3月)からおよそ1,000にまで減少しました。この「平成の合併」が地域社会に与えた影響は大きく、合併がもたらした効果や弊害について様々な議論が行われていますが、現場の実態を踏まえた検証は、いまだ不十分な状況にあるといわざるを得ません。

このような状況を踏まえ、「道州制



と町村に関する研究会』では、合併した自治体、合併していない自治体あわせて17の市町村でヒアリング調査を行い、その結果を報告書にとりまとめました。

報告書の第 部「ヒアリング調査における現場の声」では、首長、元首長、自治体職員、議会関係者、地域づくりに携わるNPO関係者などを対象に行ったヒアリングの内容を収録し、第 部「平成の合併」をめぐる検証」では、合併が地域にもたらした効果と弊害、合併を選択しなかった町村の可能性や今後の課題にも言及しています。なお内容の全文は全国町村会ホームページからもご覧になれます。

将来の地方自治のあり方を検討する際には、合併を経た地域の状況や個々の市町村の取り組みを把握することが、何よりも重要です。是非とも「一読いただき、「平成の合併」の実態について一考いただければ幸いです。

【連絡先】

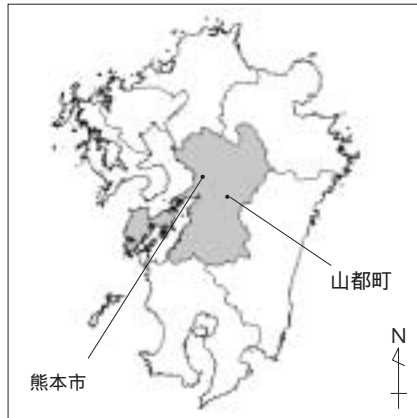
全国町村会 行政部  
電話 03・35581・0483  
FAX 03・35580・5955  
ホームページ <http://www.zck.or.jp>

フォーラム

現地レポート

町村独自のまなびづくり

賑わいあふれる山の都を創る  
〜潤い、文楽、そよ風でつづる新しい町〜



「平成の合併」によって、全国の市町村は1,000余りに減少した。このうち、合併後もなお「町」や「村」を名乗る自治体は、およそ160。それらの町村では、現在、どんなまちづくりが行われているのか。依然として厳しい財政、新町村としての一体感の醸成など、いずれも、課題は多いはずである。

青い山に囲まれて

放浪の俳人種田山頭火が、「分け入つても 分け入つても 青い山」という句を詠んだのは大正15年の初夏。肥後熊本から日向延岡へと延びる日向往還をたどり、古い宿場町馬見原(旧蘇陽町)へ向かう道中でのことだった。九州山地と阿蘇南外輪山に挟まれたこの圏域は、どこまで行っても青い山ばかり。九州山地の脊梁が間近に迫る風光は、山頭火が歩いた80年前と、あまり変わっていない。

その日向往還が東西に貫く山あいにあるのが、熊本県山都町である。旧矢部町、旧清和村、旧蘇陽町の3町村が、平成17年2月に合併。総面積544.83km<sup>2</sup>という、県内屈指の広さをもつ町となった。それでも人口は1万8千人余り。第1次産業従事者が30%を超える、典型的な農山村である。

悩み抜いた合併

旧矢部町、旧清和村、旧蘇陽町が任意の合併協議会を立ち上げたのは、平成15年のはじめ。「平成の合併」の動きが、全国で本格化しようとしている頃だった。



やま と ちよう  
熊本県 山 都 町

「山都町の宝」清和文楽人形芝居

フォーラム

毎年9月の第1土曜日曜に行われる八朔祭



ところが、この合併は、一部で歪みを生むことになった。まず、郡域を超えた組み合わせとなったことで、自治体の区域と農協、畜協、森林組合などの管轄区域に

ズレが生じた。

さらに、500kmを超える広大な面積となったことで、行政と住民の距離は確実に遠くなる。行財政の効率化は差し迫った課題でもあり、住民の間でサービ

ス低下への不安は高まっているという。

山都町の西田毅総務課長は、「昭和の合併」の時と今回の合併を比較して、「6町村が一緒になって旧矢部町ができた時は、地域のまとまりもあったし、人口増加や鉄道の開通など将来への希望もあった。しかし今回は、かつての状況とはまったく違っていた。」と振り返る。

3町村が一緒になっても、将来への展望が見えにくい中での合併。旧矢部町、旧清和村、旧蘇陽町とも、悩み抜いた上での決断だったといえる。

山都ものがたりの夜明け

合併後、町の一体感をどのように築き上げていくか。

新生山都町にとって、これが最大の課題となった。さまざまな事情があったとはいえ、今は町の将来を見定めて、合併したメリットを追求するべきである。そのためには、住民の一体感が欠かせない。そう考えた甲斐利幸町長が着目したのが、「阿蘇家の歴史」だった。

「阿蘇家」とは、古くから、肥後国の一宮「阿蘇神社」の大宮司職にある家。中世のある期間、阿蘇家は、旧矢部町の中心地である浜町を拠点に一大勢力を築いていた。旧清和村、旧蘇陽町の地域にも、阿蘇神社の末社が点在しており、旧3町村の住民にとって、「阿蘇家の歴史」は、共通して育んできた地域の歴史といえる。

町は、平成19年度に「山都ものがたり」の夜明けへ検証 阿蘇家入領800年」と銘打った一連の事業を展開することにした。ひとつは、山都町と中世阿蘇家をめぐる歴史講座やシンポジウムを開

催。さらに、テレビ東京の人気番組「開運!なんでも鑑定団」を誘致して、阿蘇家をはじめとする地域の歴史遺産を掘り起こした。

そして、記念事業のメインとなったのが、清和文楽人形浄瑠璃による「阿蘇の鼎灯」であった。清和文楽は、旧清和村に150年以上前から伝わる伝統芸能。明治時代に一時廃れた時期もあったが、昭和に入って復活し、現在は地元農業者を中心とした保存会が、この貴重な文化を守っている。

この企画を発案した町商工観光課の本田潤一さんは、「旧矢部町に拠点を置いていた阿蘇家の話を、阿蘇郡に属していた旧蘇陽町とともに、旧清和村の文楽で演じる。これによって、3町村の共通意識をつくりたかった」と、事業のねらいを話す。清和文楽で「阿蘇家の歴史」にまつわる舞台を作り、住民の一体感を醸

熊本県も、平成12年3月には「熊本県市町村合併推進要綱」を策定。県内市町村の合併パターンを示すなど、すでに「市町村合併を積極的に推進」する方向へと舵を切っていた。

こうした県の指導や、地方交付税の減少などによる財政の逼迫は、やがて、矢部、清和、蘇陽の3町村を合併へと押し流していく。

旧矢部町と旧清和村は上益城郡。一方、旧蘇陽町は阿蘇郡。県が示したこの3町村の組み合わせについては、地域内で住民投票を求める動きもみられるなど、さまざまな声が上がった。これに対して、職員はチームをつくり、集落ごとに説明会を開催。住民をねばり強く説得して、平成16年8月に合併協定書の調印にこぎつけることができた。



特産のブルーベリー



ゆず加工品

フォーラム

『阿蘇の鼎灯』の舞台風景



成しようと考えたのである。

ただ、記念公演までに与えられた準備期間は1年足らず。この舞台作りには、さまざまな困難が待ち受けていた。

『阿蘇の鼎灯』は、戦国時代末期、阿蘇家の幼い当主が、薩摩の島津氏に追い詰められて、隠れ里へ落ち延びるといふ没落の物語。いわば敗者の物語であるため、残された史料は極めて少ない。脚本を依頼された元山都町立図書館長の前田和興さんは、自らのツテをたどりながら古い史料を探り出す作業から始めなければならなかった。

幕が下りたときに拍手が来なかったら、こんな惨めなことはない。その思いと責任。それから合併記念事業であったというところが重かった。当時の心境をそう語る前田さんの苦労は、並大抵ではなかった。その苦労と熱意が形となった作品は、登場する人形10体以上、上演時間2時間を超える大作となった。

しかし、これだけの舞台は、保存会のメンバー16人ではまかない切れない。そこで、本田さんらは、前田さんとともに町全域に声をかけ、手助けしてくれる人を募集。旧矢部町の文化サークルの仲間を中心とした「清和文楽盛り上げ隊」が結成されることになる。8人からなる「清和文楽盛り上げ隊」は、人形遣いはもとより、衣装の縫製、人形の手足の制作まで、舞台作りを全面的にバックアップ。本番1ヶ月前から始まった保存会との練習にも、熱意をもって取り組んだ。

こうして、『阿蘇の鼎灯』は、県立劇場に2、500人を超える観客を集め、堂々たる舞台となった。保存会と「清和文楽盛り上げ隊」が共同で演じた2時間の公演に、満員の客席から、万雷の拍手が送られた。

幕が下りたときに拍手が来なかったら、こんな惨めなことはない。その思いと責任。それから合併記念事業であったというところが重かった。当時の心境をそう語る前田さんの苦労は、並大抵ではなかった。その苦労と熱意が形となった作品は、登場する人形10体以上、上演時間2時間を超える大作となった。

山都町は、最高のスタートを切った。

「清和村の宝」を「山都町の宝」に

旧清和村が、文楽を使った村おこしに取り組み始めたのは、細川護国元首相が熊本県知事だった時代。「くまもと日本一づくり運動」で個性ある地域づくりを提唱したのと時を同じくして、清和文楽が県の無形文化財に指定されたことがきっかけだった。

村は勢いを得て、文楽による地域振興に着手。平成4年には「清和文楽館」を完成させ、年間160回を超える公演を行うまでになる。「多くても年に50回くらいの公演があればいい」と思っていたのが、1年目で160回以上の公演。農業作業中心の毎日へと、生活が一変してしまっただけでなく、倉岡輝司会長は、当時の状況をしみじみと話す。

廃れ行く文化だと思っていた文楽を観るために、村外から大勢の人がバスを連ねてやって来た。村民も、初めはみな驚きの目でその様子を見ていた。

昔は、熊本市に向かい



平成4年に完成した、清和文楽館



フォーラム

ても、村から来たなんて恥ずかしくて言えなかつたですよ。」(勸)清和文楽の里協合理事長の福田幸一さんは、旧清和村の若い役員職員だった頃を思い出して苦笑する。「それが、文楽で村おこしをするようになったから、清和村の名が知られるようになった。文楽は私たちに誇りを与えてくれた。」地域で細々と受け継がれてきた文楽は、こうして、村の宝になった。

渡辺久さんは、現在の状況を「新作もなく、マンネリ化が出てきている。新しいことを考えていかなければならない時期」と分析する。とはいえ、保存会のメンバーは農作業をやりながらの公演。高齢化も進んでおり、今の状況を抜け出すのは容易ではない。

た新しい取り組みが、すでに始まっている。ひとつは、景観づくり条例による、町内の美しい景観の保全。今年7月、「通潤用水と白糸台地の棚田景観」が、国の重要文化的景観に指定された。



国の重要文化的景観に指定された白糸台地の棚田

しかし、「清和文楽館」での公演開始から16年が経過して、いくつかの課題も出ている。とりわけ、最盛期には2万人を超えていた年間の観客動員数は、平成11年度以降伸び悩み、ここ数年は、減少に歯止めがかからない。清和文楽館館長の

また、町内産の有機農産物のブランド化に向けた取り組みも期待が大きい。もともと、山都町は無農薬米や野菜、果樹などの有機栽培が盛んな地域。これら多彩な農産物を、金・銀・銅の3段階に認証してシールを貼付し、付加価値をつけて町外の消費者に届ける。環境保全型農業を推進するとともに、安全な無農薬野菜として県内外で町の知名度を高めるねらいがある。

筆者が文楽館へインタビューに訪れた日、保存会のメンバーは、古典『絵本太閤記』の練習に精を出していた。長い間取り組むことができなかった古典への挑戦。清和文楽を「山都町の宝」にしようと奔走する本田さんも、この新しい動きに目を細める。「お金を取って観ていただく以上、技を磨いていくことも必要。町内にすそ野を広げていくためにも、継続して取り組んでいかなければ。」と、次なる仕掛けを模索している。一方、文楽による地域振興に長年携わってきた福田さんも、「清和の宝」だったものを、「山都町の宝」と言われると、少し寂しい気もする。しかし、町は一生懸命バックアップしてくれている。「山都町の宝となるよう、私たちが頑張っていきたい。」と心じる。

「山都ものがたりの夜明け」と題した一連の合併記念事業、そしてこれに続く上記の取り組みなど、山都町のまちづくりには共通の哲学を感じ取ることができている。山都町が、新しいまちづくりを進めるに当たって中心に据えたその哲学とは、いの中のつながりである。

とから、まちづくりを始める。先人が造り出してきた歴史を振り返り、自らの風土に誇りをもって、賑わいの絶えない山の都を創り上げていく。山都町のまちづくりには、そうした一本の太い柱を見る思いがする。

合併から3年半余り。旧町村の垣根を越えて、山都町はひとつの方向へ向かって走り始めている。

山の都を創る

『阿蘇の鼎灯』の成功によって高まった町の一体感。山都町では、これを活かした



朝日に輝く通潤橋

合併して新しい町になっても、地域が受け継いできた歴史と風土が変わるわけではない。矢部町、清和村、蘇陽町が共通してもっていた歴史と風土を見直すこ

先祖代々、人々の営みが続けられてきた所にこそ、文化がある。その文化を大切に、「山の都」の名にふさわしい新たな歴史を創っていくこととする精神が、山都町には生きています。そうした、町村らしい豊かなふるさとづくりを、これからも続けてほしいと願う。

(全国町村会広報部 黒田 治臣)



情報



**鶴居村** 「日本で最も美しい村」に新たに加盟

鶴居村など7町村が「日本で最も美しい村連合」会長・浜田哲北海道美瑛町長に新たに加盟した。同連合は、フランスの「最も美しい村連合」を参考に、2005年に設立。日本の農山村の景観・文化を守る活動を行うもの。今回で加盟団体は17町村1地域となった。

今回加盟が承認されたのは鶴居村(タンチョウの人口給餌等)のほか、北海道京極町(羊蹄山のすそ野に広がる畑地帯がありなす四季の農村景観等)、山形県飯豊町(田園散居集落の景観等)、長野県中川村(日本アルプスの山々を一望できる陣馬形山からの景観等)、長野県南木曾町(宿場町の面影を強く残す妻籠宿等)、京都府伊根町(伊根浦舟屋群等)、高知県馬路村(ゆずを中心とした産業づくり等)の各団体。

なお、加盟条件は、人口が概ね1万人以下、人口密度が1平方km当たり50人以下、景観などの地域資源が2つ以上ある連合が評価する地域資源を活かす活動があるなど。今年度の活動方針では、1年後の加盟村数目標を30としている。

**山梨県 丹波市** デマンド型乗合タクシーを運行

町は住民の足を確保するため、「みつぶ乗合タクシー」の試験運用を10月1日からはじめた。山梨県内で初めての試みで、関係町村から注目されている。

町は2004年9月に旧身延町、旧下部町、旧中富町が合併して発足した。旧町にはそれぞれ民営・公営バスが運行されており、新町発足を契機に統一を検討したが、山間部の多い町では課題も多かった。このため、国土交通省の補助を受けて10人乗りワゴン車2台を購入した。今年度は旧身延町の病院のある飯富と、大城・横根方面、大島・清子方面の2系統で、それぞれ6便を運行。利用料金は1回大人300円、小中学生が100円。事前登録し利用の際に予約電話することで住宅付近で乗車でき、毎日約15~17人の利用がある。町では、3年以内に町内全域を対象にする予定だ。なお、車両購入・電話予約システム等の初期投資は約3,600万円、うち2分の1は補助金を充当する。

**鳥取県 新倉町** 小中一貫校の新校舎建設へ

村では、中学2年生のアメリカ研修や小学校での英語活動・非常勤講師による少人数指導などユニークな教育を行っているが、小中一貫教育を展開する「飛鳥学園」の2010年4月開校を目指し、近く建設に着手する。

臨海工業地帯を抱える村は財政的に豊かで、人口も4,500人前後で推移しているが、少子化で児童生徒数は小学校212人、中学校118人と少ない。村ではこれを「利点」と捉え、2006年度から「小さくてもキラリと光る飛鳥村教育特区」の認定を受け特色ある教育指導を展開。小・中学校合同運動会や中学校教員による小学校出前授業などを行っている。しかし、各1校の小・中学校が別にあるため、小中一貫校2階建て、延べ床面積1万3,439平方mを総合体育館や図書館、温水プールに隣接する場所に建設することにした。一貫校開校に併せて、小・中学校の9年間を、4・3・2・小1・小4、小5・中1、中2・中3)の3段階に区分。9年間を通じた系統的・計画的な教育活動を展開することになっている。

**大阪府 大岬町** 地域活性化へ住民提案事業をサポート

町は、住民団体やNPO等が取り組む地域貢献事業などを支援する「岬ゆめ・みらい」サポート事業制度「に取り組んでいる。官民協働で地域活性化などを進めるのが狙い。

同制度は、「サポーター」として町に登録をした住民団体などが企画・提案する事業を町が審査し、承認した事業について町が広報など支援するもの。町に承認された事業は、お墨付きを示す「サポーター事業マーク」をポスターなどで使用できる。16日現在で「サポーター」は22団体。これまでに海の家の運営や絵本朗読会など8事業を承認し、インターネットや広報誌でのPRなどで支援したほか、サポーター間の事業のマッチングやサポーターへの事業逆提案も行う。

**鳥取県 鳥取市** 学校別結果を公表

町の教育委員会は、全国学力テストの「学校別結果」を開示した。文部科学省は今後の調査に支障をきたさないようにするため、市町村が学校ごとの結果を公表しないことなどを求めており、「学校分(の公表)は(各)学校の判断」(塩谷立文科相)との考えだ。市町村教委が学校別結果を開示したのはこれが初めて。

町内在住の男性が9月に開示請求し、同月の定例教育委員会で全会一致で開示を決定。10月に入り、個人が特定される可能性がある児童数の少ない1校を除く小中計4校の学校別平均正答率を開示したという。

これについて塩谷文科相は記者会見で、「学校別データの公表は各学校に任されており、聞くところによると、当初から(各学校が公表する)予定があった。ただ、開示請求があつて(町教委が)公表したことは問題」と指摘。その上で、「市町村分(の公開は)市町村の判断、学校分は学校の判断」と強調した。

文化・教養・家庭 親子のコミュニケーション

子どもと遊ぶ時間がない？ 大丈夫。子育ては量より質です！

絵本作家 宮西 達也

週に一時間でも一緒に一生懸命遊ぼう

ぼくは、育児はかなりやっただろう... 大人は10年経っても大して変わらないのに、子どもは1年で歩き、すぐに走ったり喋ったりするようになる。その進歩を見るのは感動的でした。

もちろん誰もが子どもとずっと一緒に過ごせるわけではありません。実際、多くの父も仕事に忙しく、土日にも家にいることはほとんどありませんでした。でも、時間ができれば一緒にキャッチボールをしたり、絵を描いてくれたり。そのときの父は、「子どもに申し訳ないから」というのではなく、こどものほくと同じ視線で無邪気に遊んでくれました。親のそういう姿勢は、子どもにもちゃんと伝わるものです。

子どもへの愛情が伝わればいい

つまり、子育てというのは、量ではなくて「質」。こたいそうなキャンブセットを買って、「今日は一日一緒にいよう」なんて山に出かけなくても、近くの公園でキャッチボールをしたり、ひざに乗せて一緒に本を読んだりするだけでいいんです。要は、そこに子どもに対する愛情があるかどうかです。

「子どもと一緒にいて幸せ！」という気持ちを伝えられる時間が少しでもあれば、子どもと同じ気持ちをもち、返してくれるし、それに支えられることで、少しずつ辛いことがあっても後ろ向きにならずにいられるのです。

ただ、ずっと子どもと向き合っていて、煮詰まってしまう専業主婦のお母さんの気持ちもよくわかります。一人になりたいときがあるのは当然のこと。そのときは、お父さんに頼んだり社会的なサービスを利用したりして、すこし子どもと離れればいい。その後、また子どもを抱きしめてあげればいいのではないのでしょうか。

国際フォーラム「世界の都市(まち)はかわる - 川の再生と洪水・生きもの・やすらぎ - 」参加者募集

(財)日本生態系協会では、これまでも持続可能な自治体づくりをテーマとした国際フォーラムを開催しています。本年は、川の再生からはじめる都市(まち)づくりの取り組みをご紹介します。そこで、このフォーラムへの参加者を広く募集します。

1、開催趣旨

地球温暖化の進行や生物多様性の喪失など、私たちの生存の土台をゆるがす環境問題が深刻になっていきます。この問題をくい止めるには私たちの暮らしの場である都市(まち)を自然と共存した都市(まち)に変えていく必要があります。そのよりよい方法が川の再生です。都市の川の再生には、洪水対策と生きものとの共存、そして、市民のやすらぎの場の確保がなくてはならない三つの要素です。本フォーラムでは、世界の都市で進められている川の再生の取り組みについて、今までの川の管理から大きく転換した背景なども含めてご紹介します。

2、開催概要

日時：平成20年11月13日(木) 13:00～17:30
会場：津田ホール (東京都渋谷区千駄ヶ谷)

主催：(財)日本生態系協会
後援：国土交通省、環境省、農林水産省、ドイツ大使館、東京都建設局、全国知事会、全国市長会、全国町村会、(社)日本都市計画学会、(社)土木学会、日本ビオトープ管理士会ほか

対象：自治体リーダー、国会・地方議会議員、行政職員、研究者、企業ほか

参加費：無料
定員：480名

3、プログラム

開会 13:00(受付開始 12:30)
基調講演「都市河川の自然再生における世界の動向」

池谷 奉文

(財)日本生態系協会 会長
講演 「ヨーロッパの川の自然再生とEU指令」

ヤン・イェンセン

デンマーク環境省森林自然庁
講演 「川の再生による自然と共存したまちづくりの効果」

ハラルド・デネケン

ドイツ カールス・ルーエ市
第一副市長

講演 「人と自然が共存する循環の軸となる川をめざして」(仮)

山田 雅雄 名古屋市長

懇親会 17:50～19:30

(懇親会は有料、希望者のみ)
外国語での講演は日本語の逐次通訳が付きます

4、申込み問合せ先

(財)日本生態系協会
川の再生フォーラム係
TEL 03-59551024
FAX 03-59551297
URL http://www.ecosys.or.jp/eo-japan/



ドイツ クワギー川

随 想

随 想

宮城県丸森町長

渡辺 政巳

人が、地域が輝けば町は輝く



超えています。

また本町は、自然環境に恵まれた大変住みやすい町です。県内でも比較的温暖な気候風土のため、古くから人々の定住が進んでいたと見られ、奈良時代以前に造営されたと見られる台町古墳群をはじめとする多くの史跡もあります。町の中央を東北第二の大河である阿武隈川が貫流しており、阿武隈川舟運の拠点として栄えた歴史があります。この舟運のなごりを残して運行している「阿武隈ライン舟下り」や舟運で財を成した豪商の屋敷を活用した蔵の郷土館「齋理屋敷」、そして優れた自然環境を有する阿武隈川流域やその支流の内川深谷などの風光明媚な観光資源を有しており、貴重な動植物が多く見られることからその一部は阿武隈深谷県立自然公園に指定されています。

感を持った地区住民が立ち上がり、資金を出し合って農協の空き店舗を借り、商工会と提携して何でも売る「ななでもや」を開店しました。また、耕野地区では案内看板が無いため、地区の大山さんの協力を得て素人とは思えないほどすばらしい看板を作成して設置しました。それから、館矢間地区と大内地区では、転作田を活用した秋咲きひまわりを景観作物として数ha規模で植え付けています。いずれも最初は期待半分でしたが、予想を上回る人の集まりにビックリするやら喜ぶやらで、地元住民の意識が変わり、地域も変わり、以前より元氣と明るさが出てきました。更には、各地区に直売所が次々と誕生するなど、人々のやる気も順調に育っているようです。

私は、平成11年に丸森町長に就任し、現在3期目です。町長就任前は、町議会議員に3期11年在職しましたが、それまでは「丸森を活かす青年会議」という組織を立ち上げその中心になって地域おこし活動を行っていました。その中で、ふるさと丸森をよくするために若者の意見を町政に反映させなくては、と考えて町議会議員に立候補し、当選と同時に迷惑をかけないようにと組織を退会したのですが、その後は活動が縮小し、やがて組織も解散してしまいました。

た。そしてようやく立ち上がったと思ったら、なんとという行動力か、自分たちで山から木を切り出し、筆神社を作ってしまった。社は、合格を祈念しての5角形で、毎年11月23日の「いいふみの日」に筆祭りと呼ばれる筆供養などを行います。マスコミに取り上げられたこともあり、多くの方で賑わいます。私は、この2つの事例を通して「地域に根ざして活動する人が出てこない」と地域は活性化しない」とつくづく考えさせられ、「町づくりは人づくり」という思いを強く持ちました。

ところでわが丸森町は、昭和29年12月に2町6村が合併して誕生しました。合併当時は人口が3万人近くありましたが、高度成長期に人口流出が続いたこともあり、平成20年3月末日では16、624人まで減少しています。

また、丸森町には筆叢ひつぽ」という地区がありますが、この地名は読んで字の如く筆の叢という意味で、伊達政宗が検地を始めたところと言われています。私は、地区の名を活かした事業として、筆供養をしてはどうかと地元の方々に提案しました。筆供養は各地でやっているようですが筆供養は聞いたことがなく、やれば全国的に注目されるだろうと思っただけです。やるからには継続させないと意味がないと考え、中心となって活動してもらおう地区の若い人たちを2年かけて説得しまし

行政区域面積は273.34km<sup>2</sup>と広く、その約70%が山林という中山間地帯ですが、高い山がないことから町内全域に人が住んでいます。このため道路の延長は、国道・県道・町道・農道・林道を合わせると1,000kmを優に

このような特性を有する町であることから、旧町村8地区にはそれぞれ特有の地域性が今も根付いています。この特性を活かしながら、「自分たちができる事は自分たちでやる」という考え方に立った地域主導の町づくりを推進することとし、平成13年4月から5年の月日をかけて、8地区すべてで独自の町づくりのための「地区別計画」を策定していただきました。そして、この計画の推進に当たっては、行政と住民の協働が特に重要なポイントとして位置付けられているのが大きな特徴です。

例えば、地元の商店が無くなった大張地区では、何とかしなければと危機感を持って町が輝くこととなるのです。



# 車両共済(保険)のご案内



(自動車総合保険の車両保険)

この車両共済(保険)は、町村生協の自動車共済で補償する対人賠償、対物賠償、限定搭乗者傷害等に加え「ご自身のおクルマの補償(車両保険)」を追加する制度です。  
お車が衝突した場合や台風・いたずら・盗難など偶然な事故で損害を被ったときに、共済(保険)金をお支払いします。

## 町村生協の自動車共済にご加入の皆様なら！

- 通常に新規でご加入するよりも **40% (保険料) 割引**  
(ご加入を希望するお車が町村生協の自動車共済で過去3年間無事故の場合は、ノンフリート等級9等級からスタートします。)
- 集団扱契約により更に **5% (ただし、一括払のみ)**
- 保険料分割払(12回)も選択可能です。  
(保険料分割払をご利用の場合は上記の集団扱一括払の5%割引の適用はありません。)

## さらに

無料ロードサービスがついてきます。  
ご契約のお車が、事故・故障で自力走行できなくなった場合、事前にロードサービス専用デスクにご連絡ください。JAFにお取り次ぎし、レッカーや30分程度の緊急修理などを手配します。  
●バッテリー上がりや、キー閉じ込み、ガス欠など

◎年齢・ご家族・ご夫婦など運転される方を限定する場合、またお車が新車の場合は、さらに掛金(保険料)が割引になります。

## 契約条件と掛金(保険料)例

・自動車総合保険(損保ジャパン) 保険期間1年  
・自動車保険集団扱一括払による割引5%適用。

車名	スズキ ワゴンR
型式	MH21S
初度登録	平成20年7月(新車割引あり)
年齢条件	30歳以上担保
運転手限定	家族限定
共済(保険)金額	150万円
払込方法	集団扱一括払



加入タイプ	免責金額なし	免責金額5万円
一般条件(割引適用済)	40,690円	32,420円
(通常・新規で加入する場合)	71,380円	56,880円
車対車+A(割引適用済)	22,380円	17,830円
(通常・新規で加入する場合)	39,260円	31,280円
限定A(割引適用済)	—	3,960円
(通常・新規で加入する場合)	—	9,030円

- ・上記掛金(保険料)は、町村生協の自動車共済で過去3年間無事故(ノンフリート等級9等級)の場合のものであります。保険料は平成20年7月1日現在のものであり、変更される場合もあります。
  - ・掛金(保険料)は、型式、初度登録年月、年齢条件、運転者限定特約の有無、共済(保険)金額、等級などにより異なります。
  - ・上記掛金(保険料)例の「通常に新規で加入する場合」とは、ノンフリート等級6S等級を適用した保険料を例示したものです。
  - ・免責金額とは、共済(保険)契約者に、事故の際に自己負担していただく金額です。
  - ・このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容については取扱代理店(千里)または損保ジャパンの営業店にお問い合わせください。
- ※この車両共済(保険)をご契約いただける方は、全国町村職員生活協同組合の自動車共済に加入されている方に限ります。

お見積りのご請求・お申し込み・お問い合わせなどは、下記までご連絡ください。

株式会社 千里  
(取扱代理店)

- フリーダイヤル **0120-731-087** (受付時間 月～金 午前9時30分～午後5時)  
お電話の際には、車検証をお手元にご用意ください。
- FAX番号 **03-3519-7325**
- ホームページアドレス **http://www.chisato-ag.co.jp**  
〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-32 全国町村会館西館内

●「車両共済(保険)制度」は、全国町村職員生活協同組合と株式会社損害保険ジャパンとが集団扱契約を締結し、実施しているものです。

〈車両保険引受保険会社〉 ㈱損害保険ジャパン

平成20年9月9日 SJ08-05327